

桜修館 中等教育学校 令和7年度(4学年用) 教科地理歴史 科目 歴史総合

教科: 地理歴史 科目: 歴史総合 単位数: 1 単位

対象学年組: 第4学年 A組～D組

使用教科書: (歴史総合 近代から現代へ 山川出版社)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1部 近代化と私たち 【知識及び技能】 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・イギリス革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ウィーン体制 ・イタリア・ドイツの統一 ・アメリカ合衆国の拡大 ・ラテンアメリカ諸国の独立 ・西アジアの変容と南アジアの植民地化	【知識・技能】 ・イギリス革命・アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過、ナポレオン戦争によるヨーロッパにおける変化、ウィーン体制と、自由主義やナショナリズムそれぞれがめざしたものが対立していく構造、イタリアやドイツの統一・国家の形成、ラテンアメリカ諸国の独立、西漸運動について理解している。 【思考・判断・表現】 ・イギリス革命・アメリカ独立革命・フランス革命がその後の世界にあつた影響、ビスマルク外交の基本方針の政策への反映、オスマン帝国による改革とその限界、イギリスにより、インドを段階的に植民地化した過程を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・イギリス革命・アメリカ独立革命・フランス革命によってうみ出された理念や考え方について追究し、それぞれの革命の歴史的意義を見出そうとしている。 ・1848年革命でドイツとイタリアの統一運動が失敗に終わった要因を見出そうとしている。	○	○	○	8
第2部 国際社会の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動向を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動向の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・大衆消費社会と市民生活の変容 ・社会・労働運動の進展と大衆の政治参加 ・世界恐慌の発生と各国の対応 ・ファシズムの台頭 ・日本の恐慌と満洲事変 ・日中戦争と国内外の動き	【知識・技能】 ・第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化、ロシア革命に対する内戦の構造、第一次世界大戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制についての各国の思惑、国際秩序のあり方を理解している。 ・世界恐慌の発生原因・過程・結果と各国への影響、ドイツを中心としたファシズムはどのようにして台頭してきたか、日中戦争のおこった背景を理解し、日本国内の人びとの生活がどうであったか理解している。 【思考・判断・表現】 ・バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたこと、戦時外交とアメリカの参戦が戦争の展開にあつた影響、第一次世界大戦後の西欧各国の国際協調路線、植民地での民族運動が活発化、大衆化と中間層の出現、都市化の影響について考察している。 ・世界恐慌に対する各国の対応策、人民戦線政府を比較し、その後の動きを表現している。 ・北伐、金解禁の実施、昭和恐慌への対応、二・二六事件、日中戦争、三国同盟の動向、日本の国民生活の変化について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義、パリ講和会議・ワシントン会議における各国の思惑、や国際連盟と国際協調路線のなかで結ばれた条約について、その成果と限界を追究しようとしている。 ・第一次世界大戦後に労働運動や社会運動が活発化する背景と展開を国際社会の状況と比較しながら検討しようとしている。 ・世界恐慌は、国際秩序にどのような変化をもたらしたか、資本主義国・社会主義国の視点から多面的・多角的に追究しようとしている。 ・満洲事変、五・一五事件の背景・結果、日中戦争の長期化は、日中両国の人びとや国際社会にどのような影響をもたらしたのか、多面的・多角的に追究しようとしている。	○	○	○	9
定期査査			○	○	○	1

2 学 期	第2部 国際社会の変化や大衆化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦と太平洋戦争 新たな国際秩序と冷戦の始まり アジア諸地域の独立 占領下の日本と民主化 占領政策の転換と日本の独立 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していかうとしているか理解している。 朝鮮戦争の原因・過程、東アジアの諸地域や中華人民共和国・中華民国にあたえた影響を理解している。 連合国による日本の民主化、その後の日本の占領政策の転換について、その理由を考察し、どのように進めたかを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を軸にして、多角的に表現している。 国際連合のしくみ、ドイツの分割統治について、アメリカ・イギリス・フランス側とソ連側を比較して考察している。 東・南アジア諸国の独立の経緯を考察し、旧宗主国はどのような対応をとったのかを、各国別に表現している。 日本国憲法の制定の過程、日本の独立の過程を考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ドイツの拡張政策に対するヨーロッパ諸国の対応について追究しようとしている。 第二次世界大戦の終結にいたる連合国側の会議、結果として国際社会はどのように変化していくことになるか追究しようとしている。 経済の民主化、労働運動の進展、農地改革を多面的・多角的に考察し、戦後処理のあり方を理解し、その後、日本の占領政策が、民主化優先から経済優先へと転換された理由・過程を、国際社会の動向をふまえて多面的・多角的に追究しようとしている。 	○	○	○	4
	第3部 グローバル化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 米ソ两大国と平和共存 西ヨーロッパの経済復興 第三世界の連携と試練 55年体制の成立 日本の高度経済成長 核戦争の恐怖から軍縮へ 冷戦構造のゆらぎ 世界経済の転換 アジア諸地域の経済発展と市場開放 冷戦の終結と国際情勢 開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 地域紛争の激化 国際社会のなかの日本 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築、東西冷戦を象徴する「ベルリンの壁」構築の背景、第二次世界大戦後の西ヨーロッパの地域統合における歩みを理解している。 アジア・アフリカでの新興独立国の増加と「第三世界」の形成が、国際社会にあたえた影響を理解している。 日本では分裂していた社会党が統一するなかで、保守合同がおこなわれたことを理解している。 高度経済成長のメカニズムを整理し、日本の産業構造の変化を理解したうえで、農業の近代化についてまとめている。 軍縮に対する国際社会の取り組みについて理解している。 中ソ対立のなかでの「大躍進」政策やプロレタリア文化大革命、「フアラの春」の背景、ベトナム戦争の要因とその経過について理解している。 金ドル本位制の停止が世界経済にあたえた影響を理解している。 1980年代のソ連の沈滞の原因、「ベレストロイカ」の取り組み、冷戦終結前後の各国の政治情勢について理解している。 55年体制の崩壊の要因と、その結果として誕生した政権の特徴を理解している。 グローバル化のなかで福祉国家体制のなかから、新たに登場した新自由主義について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「雪解け」や米ソ関係の冷えこみなど、冷戦下における外交関係の変化を考察している。 経済統合のメリットとデメリットを比較しながら、地域統合がヨーロッパ経済の発展につながったことを考察している。 カストロやゲバラを指導者とするキューバ革命がラテンアメリカ諸国にあたえた影響、キューバ危機が核戦争の危機として緊張が高まったことを考察している。 韓国・中国との国交正常化の過程を比較して、その共通点や相違点などを考察している。 高度経済成長を支えた貿易黒字について、その推移を理解し、国際競争力を強めることのできた要因を考察している。 ベトナム反戦運動と公民権運動がアメリカの政治に与えた影響を考察している。 1970年代に経済成長を重視する価値観からの変容が進んだ要因を考察している。 共産党・党支配と連邦制がどのようにソ連邦の崩壊に結びついたのかを考察している。 株値と地価の推移のグラフと歴史的なできごとから、バブル崩壊から2000年代にいたる日本経済の低迷を考察している。 21世紀に入っておこなわれた改革や政策による影響や懸念される点を考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> スターリンの死や「スターリン批判」が東側陣営にあたえた影響から、東側陣営のあり方について追究しようとしている。 アメリカと一定の距離をとろうとするフランスやヨーロッパの姿勢を今日までの歴史のなかでほかにも見出そうとしている。 日米相互協力及び安全保障条約（新安保条約）で新しく加わった内容を理解し、条約改定に反対した運動がおきた理由を追究しようとしている。 豊かな生活を求めて消費が拡大していくこと、高度経済成長のひずみについて、地方の過疎化、都市の過密化の課題を理解し、その課題への対応や解決について追究しようとしている。 今日の核軍縮と核保有国の実態について追究しようとしている。 ベトナム反戦運動と公民権運動が同時期に展開されることになった背景について追究しようとしている。 石油危機以降、原油価格の高騰はどのような背景をもっておこっているのかを見出そうとしている。 1970～80年代の日本の安定成長の背景にあった問題点を追究しようとしている。 東欧革命による各国での新体制を比較し、傾向を見出そうとしている。 チェルノブイリ原発事故の発生から、今日までの歩みをもとに事故の意味を追究しようとしている。 ユーゴスラヴィア紛争における国際社会の関わり方について追究しようとしている。 経済を軸とした地域統合によって目指した未来像が、今日の世界経済とどのように重なっているのかを見出そうとしている。 日本の国際貢献のあり方の変化に、経済面などの日本の国際社会における影響力の変化を見出そうとしている。 	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							35